

文科省「現代的教育プログラム」に選定

文部科学省は二十八日までに、環境教育や職業意識を育てるキャリア教育など、時代の要請に対応した大学や高等専門学校に優れた教育活動を財政支援する「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」の本年度分として、過去最多の百十二件（前年度八十四件）を選定。県内から愛媛大と新居浜高専のそれぞれがプログラムが選ばれた。

愛媛大農学部を中心とした「瀬戸内の山と里と海」が、瀬戸内の多様な自然環境や歴史、文化や人材を生かし、環境教育の指導者を育成するのが目的。期間は三年、申請金額は約五千四百万円。環境教育の理論などを学ぶ講義とフィールド調査などの実践で構成する。新居浜高専の「地域連携プロジェクト型ものづくり活動」は、工都新居浜の活性化を目指し「ものづくり人材育成」「まちづくり・地域の求心力向上」の二テーマで活動。新居浜高専の水野豊校長は「地域密着型の学校の特色を生かし、新しい教育システムを通じて新居

愛媛大 瀬戸内の環境指導者育成

新居浜高専 地域連携ものづくり活動

「ESD・指導者養成講座」を開設。養成講座を含むカリキュラムの必要単位を取得した受講生には、同大が資格を与える。社会人聴講生も受け入れる。養成講座（四十人）は十月以降に開講予定で、同大はこのプログラムに、教職員二十人態勢で取り組む。

新居浜高専の「地域連携プロジェクト型ものづくり活動」は、工都新居浜の活性化を目指し「ものづくり人材育成」「まちづくり・地域の求心力向上」の二テーマで活動。新居浜高専の水野豊校長は「地域密着型の学校の特色を生かし、新しい教育システムを通じて新居

「ESD・指導者養成講座」を開設。養成講座を含むカリキュラムの必要単位を取得した受講生には、同大が資格を与える。社会人聴講生も受け入れる。養成講座（四十人）は十月以降に開講予定で、同大はこのプログラムに、教職員二十人態勢で取り組む。

新居浜高専の「地域連携プロジェクト型ものづくり活動」は、工都新居浜の活性化を目指し「ものづくり人材育成」「まちづくり・地域の求心力向上」の二テーマで活動。新居浜高専の水野豊校長は「地域密着型の学校の特色を生かし、新しい教育システムを通じて新居